

社会福祉法人 西宮市社会福祉事業団

西宮市社会福祉事業団 訪問看護だより

～訪問看護のここがいい！編～

平成25年5月

これからの高齢化社会に向け、在宅医療への期待は非常に高まっています。急性期病院の在院日数も10日を切るところが少なくありません。入院中、様々な角度から状態安定に向けた看護ケアを受けられる環境から、退院後すぐに看護ケアのない自宅での生活となり肺炎や転倒を繰り返すことも珍しくありません。病院と自宅では環境が異なるため、医師も看護師もそして利用者さんも「帰ってからのこと」がイメージしにくいのです。

このようなことが起こらないよう、訪問看護が活用されます。訪問看護は在宅医療の専門家です。在宅療養開始直後からのかかわりにより、「より速く安定した状態での生活」が継続できるよう、主治医と一緒にになって利用者さんを支えます。

訪問看護の醍醐味、それは「予測して予防的にかかわることで看護の力が発揮できること」。そして、そのことで利用者さんが自分の好きな住み慣れた場所で、「無理かもしれないとあきらめかけていた普通の暮らし」をされている様子を間近で見せていただけ、一緒に喜んだり困ったりできること……。

魅力はここに書ききれないほど。あなたも「看護」できる喜びを共に味わいませんか？

西宮市社会福祉事業団の訪問看護センターは平成3年に開設し、平成4年の制度創設と同時に日本で一番はじめに指定を受けた訪問看護ステーションです。現在、

- ①西宮市訪問看護センター（老人保健施設すこやかケア西宮 1F）
- ②西宮市甲子園訪問看護センター（西宮市社会福祉事業団本部内 1F）
- ③西宮市北口訪問看護センター（阪急電車西宮北口車庫南側線路沿い）
- ④西宮市安井訪問看護センター（山手幹線公益社前）
- ⑤西宮市小松訪問看護センター（小曾根線コープ近くトヨタ2階）

の5ヶ所のステーションで訪問看護を実施しています。

訪問看護センターのスタッフは、病院で3年以上勤務した看護師、理学療法士、作業療法士、および言語聴覚士です。現在、赤ちゃんから105歳までと幅広い年齢層の、さまざまな疾患を持つご利用者様に訪問させていただいています。

地域に根差した訪問看護サービスを展開していけるよう、スタッフ一同頑張っています。



事業団訪問看護センターがめざすもの

～私たちは訪問看護を通して次のようなことを目指し、日々努力します～

- どんな状態のかたも、住み慣れた家で過ごせる地域づくりをしていきます
- 医師のパートナーとなれる観察力、判断力、看護力を持ち、ご利用者の皆様の持つ力を大切にサービスを提供するよう努力します。
- ご利用者の皆さまに満足していただく、状態・条件の改善が客観的に見えるサービス提供をします。
- 他職種との連携を積極的に行い、在宅サービスチームの力を引き出し、最大限のチーム力を発揮できるようにします。
- 自分の目指す看護・リハビリを明確にし、これを実施することによって、自分自身も成長できるように努力します。

～写真でご紹介する訪問看護センターのお仕事～

AM8:45～ 申し送り

前日訪問したご利用者様の状態について、情報の共有や連絡、報告、相談を行っています。
訪問するのは1人なので、独りよがりにならないよう「これでよかったのか」相談します。

AM9:10～ 訪問の準備

ご利用者様の情報収集を行い、必要物品を準備します。
「あの方、今日はどんなご様子かな？」前回の訪問時の記録を見て、準備してから訪問です。

AM9:15～ 訪問へ出発

電動自転車、バイク、車で出発！！（1日の訪問件数は平均4件）
（写真はスタッフ勢揃い！と出発風景）



AM9:30～ 訪問看護(リハビリ)の実施

状態を観察して問題点を把握し、必要に応じた療養上の助言や介護上の相談、医療処置などをおこないます。（写真はさくら見の様子、理学療法士による家庭でのリハビリテーション）



AM10:30～ 訪問看護(リハビリ)の実施

この日2件目の訪問。待っていただいているご利用者さまの顔を思い浮かべて、自転車をこぎます。お悔やみ訪問は残されたご家族とともに故人を偲び、思い出話を伺う時間となっています。（写真はお悔やみのお花、ポート用器具）



PM12:00～ センターに戻り昼食。他のスタッフと顔を合わせながら、今日の出来事を わいわいと話して、気分転換をするひととき。急ぐ仕事を片づけもします。

PM13:30～ 今日「訪問看護課研修会」の日。遺族会の方との交流の機会を持ちました。ほかにも、リスクマネジメントに取り組んだり記録の学習など学ぶ機会は充実しています。また、「キャリアプログラム」に基づき、新人スタッフの育成にも取り組んでいます（詳細はキャリアプログラム PDF をご覧ください）。法人内の児童館に年 1 回、健康教育の機会として、「かんごさんがやってきた！」を実施しています。（写真は研修会の様子、児童館での「かんごさんがやってきた!!」による 2～3 歳児と保護者への健康教育の取り組みの様子）



また、別に「事例検討会」を各センターで行い、タイムリーに事例を皆で検討してより良いサービス提供を目指しています。（写真は研修会、福祉用具研修の様子）



PM 15:30～ 今日は、医療機関に退院調整に向います。

新しく申し込みのあった利用者さん。退院の準備をしたいが、状態が不安定で、訪問看護を入れての退院が望ましい、とのことで急ぎ医療機関に行き、ご家族を交えて退院準備について話をします。こうした機会はますます増えています。（写真は、医療機関での退院支援と研修の成果物）



PM17:00～センターでの申し送り、看護記録記入、主治医やケアマネへの連絡やミーティング

スタッフ同士のディスカッションも活発に行われています。今日もあちこちで話し合いが。今日の訪問で様子が気になったご利用者さまには、安心して過ごしていただけるように、その日の内にもう一度連絡を入れます。バイクや車の運行記録を書き、今日の仕事はおしまい。お疲れ様でした！！各種部会もあり、自分たちでステーションの仕組みづくりや見直しを通し、より良いステーションにしようと、厳しい中にも楽しさを忘れず、頑張っています！

訪問看護ランキング 24年度

訪問看護に同うのは、こういった感じの方々です。

利用者さまの年齢	疾患	居住の状況	要介護度別	装着医療器具
0歳～105歳 多い順に… ① 80歳代 ② 90歳代 ③ 70歳代	① 脳血管疾患 ② がん ③ 神経難病 ④ 精神疾患 ⑤ 筋骨格系疾患	① 家族と同居 ② 独居 ③ 昼間独居	① 要介護 1 ② 要介護 5 ③ 要支援 2 ④ 要介護 3	① 膀胱カテーテル ② 経管栄養 ③ 酸素療法

ご利用者様、ご家族、医療関係者から伺いました。

～「訪問看護のここがいい！」～



～ご利用者さまより～

- 退院後の自宅での過ごし方、どのような生活を送りたいのか聞いてくださり、訪問看護でどのようなことをしてくれるのか説明していただきました。安心してお任せしています。
- 便秘で便が出なくて苦しかった。訪問看護師さんが急遽訪問し、排便を手伝っていただきました。その後は、食事や薬の飲み方を詳しく教えてくださり、楽になりました。

～ご家族より～

- 寝たきりの父に褥創が出来ました。段々と悪くなり、かかりつけのお医者さんの紹介で訪問看護師さんが来て処置や指導をしていただきました。治るまでに時間はかかりましたが、入院することもなく、感謝しています。
- 老夫婦2人で生活しています。夫はリハビリを訪問看護師さんと一緒に楽しそうに行っています。私も一緒に体操しています。毎週が楽しみです。
- お医者さんには聞けないことや病気のことでわからないことを訪問看護師さんになら気軽に相談できます。家で介護していても安心して過ごせます。
- 癌の末期の夫を最期まで在宅で看ました。痛みが強く、そのたびに訪問看護師さんに相談して丁寧な対応をしていただくことができ、心強かったです。夫の望み通り、穏やかな日々を過ごし、自宅で看取ることができたことに満足しています。
- 認知症が進んだ母を看ながら不安になる毎日です。しかし、訪問看護師さんに対応方法を教えていただいたり、私の話をじっくりと聞いてもらえ、救われています。これからもがんばって介護していこうという気持ちになれます。

～医療関係者から～

- 医療依存度が高かったり、病状が不安定な重度の患者さんに退院前から病院に来て調整してくれ、24時間緊急訪問可能なステーションにつなげることで、安心して退院される方が増えてきました。(病院看護師)
- 内服薬の服薬管理や食事の工夫を訪問看護師に行ってもらうことで、糖尿病の悪化を防ぐことが出来ました。(主治医)
- 自宅療養の様子や病状変化時に訪問時の状態報告をしてもらうことで、直ぐに指示を出すことができ、患者の入院頻度が少なくなりました。(主治医)
- 患者さんの痛みやだるさなどの訴えや状態の変化などを細かく医師に連絡してもらえました。ご自宅での看取りのあと、ご家族が「訪問看護師さんが細やかに丁寧に対応いただいた。」と感謝していました。(クリニック主治医)
- 酸素の必要な患者さんがとても不安そうにしていたですが、退院までにご自宅での酸素を使った生活について丁寧に説明をしていただきました。患者さんもお家族も安心して退院することができました。(医療ソーシャルワーカー)

西宮市社会福祉事業団の訪問看護ステーションの魅力がお伝えできたでしょうか？

興味を持たれた方は、一度センターを見に来てくださいね。

(連絡先 68-2711 統括所長やまさき)

お電話お待ちしております。

